



お盆



ご先祖さまをおもてなし

合掌



正福寺だよりNo.118

令和3年夏お盆号

8月1日発行

説江山 正福寺

浦安市堀江 2-6-35

TEL047-351-2742

FAX047-350-5123

《正福寺ホームページ》

<https://syoufukuji.tyami.xyz/>

《日蓮宗ポータルサイト》

<http://temple.nichiren.or.jp/1041125-shofukuji>

ご先祖さま

皆さんはご先祖さまというとの位遡って言うことができますか？
お父さん、お母さん、お祖父ちゃん、お祖母ちゃん、ひいお祖父ちゃん、ひいお祖母ちゃんと3代遡ると14人、10代遡ると2,046人、20代遡ると2,097,150人、30代遡るとなんと2,147,483,646人のご先祖さまになります。20億人です！そのうちの1人でも欠けたら今の自分は存在しないと思うと、なんとも有難い思いになりますね。
そして私たちは皆親戚かもしれませんね。
本当の先祖供養というのは〇〇家先祖代々之霊にとどまらず、すべての霊、すなわち法界万霊の供養に繋がるのですね。
お盆です。ひろーい心ですべての霊を供養しましょう。

お願い
お盆の期間（八月十三日～十五日）、
並びに施餓鬼（八月十七日）は、
境内が混雑して危険ですので、
お車でのお越しはご遠慮下さい。

心の財（たから）第一なり

〓コロナ禍を過ごしして〓

私は扁桃腺肥大で月に一回は高熱が出たり、喉が痛くなったり、いわゆる風邪をひきやすい体質です。

また、秋から年明けにかけて毎年お経をあげるのがつらくなるほど咳き込みます。たぶん何かのアレルギーなのだろうと思っています。

それがどうでしょう、新型コロナウイルス感染拡大から約一年半、感染予防が功を奏してか風邪一つひくことなく、咳き込むこともなく過ごしてきました。

私の場合何が良かったのか振り返ってみますと、明らかに以前と変わったのが食事前の手洗いです。また、人混みに行く時、マスク着用を求められている場所にいる時、人と面と向かう時にはマスクを着用しています。ちょっとしたことですが、気を付けることがこんなに健康に影響するものなのかと驚いています。

まあ、こんな私個人のことはどうでもいい問題です。

この一年半世の中は大変なことになっています。先日東京都は四回目の緊急事態宣言発令、それにもない千葉県内のみん延防止重点措置も延期で、飲食業やホテル業の知り合いの方々はとても苦しい状況に追い詰められています。お寺の新年会等で依頼しているカラオケのレンタル会社さんはもうコロナ禍の影響で廃業してしまいました。

逆にコロナ禍によって利益を上げた業種もあり、世の中、

本当に表と裏、不思議なもので儲かる儲からないは時の運のような気もします。この件に関しては江戸時代にもお金やお米を困窮者に支給する制度があったように給付金制度を充実させていくほかありません。

問題は、此のコロナ禍の不安がいつまで続くのだろうか？ということだと思えます。誰しもが昨年の今頃は「来年は落ち着いているんだろうね。」なんて思っていたでしょうが、この通りです。そして、来年の今頃こそは・・・と語っていても果たしてどうでしょうか？まだまだ続きそうな気がします。約百年前のスペイン風邪では、当時日本の人口五千六百万人中四十五万人が死亡したと言われ、大正七年から約三年に亘っています。当山の過去帳を見ても、何人かスペイン風邪で亡くなられた記録があります。

江戸末期にはコレラに襲われました。人類の歴史を見れば常に疫病の恐怖にさらされてきたのです。「今」をしっかりと見つめて生き切ることが必要です。

「蔵の財よりも身の財すぐれたり、身の財よりも心の財第一なり（お金よりも身体、身体よりも心が一番大切だ）」と鎌倉時代に日蓮聖人は仰いましたが、私達はコロナ禍で「お金（経済）」より「身体」を選びましたが、「心」を失ってしまっているような気がします。何の為に健康であることを望むのか？「心」を失っては本末転倒です。コロナ禍は私達に「心の財」を積むことを教えてくれているような気がします。

総代・世話人会議

六月二十六日午後四時より、当山客殿にて総代・世話人会議が開かれ、新任世話人さんの紹介、諸々の行事報告、これからのお盆行事について話し合われました。

コロナ禍に於いて当山は行事を中止にするのではなく、出来る範囲で無理なく継続していくことを確認しました。お盆のお経廻りは、堀江地区二組、猫実地区三組、他四組の九つに分かれて昨年通り、施餓鬼法要は密集を避けるために午前・午後の二回に分けて執り行うことになりました。日蓮



聖人のお言葉に「檀那は油の如く、行者は燈の如し」とあるように、檀那（檀家さん）の信心を元とした支えがあつてこそ行者（僧侶）は布教化活動が出来、正福寺寺門の繁栄、法華信仰の流布、地域社会の平和につながっていくのだと思います。檀信徒の皆様にご心より感謝申し上げます。

説江山正福寺 総代・世話人

総代 田中由三・宇田川浩一・大塚孝典

世話人(順不同)

川中茂雄 内田代喜 松井敏美

平野賢一郎 宇佐見尚吾 川口龍司

大塚兼光 大貫隆尚 泉澤満 泉沢利明

池田肇 金子隆徳

泉澤喜一郎 大塚康雄 大塚勝利

金子康行 泉澤清一 大塚真二

川口利治 (新任)

宜しくお願い申し上げます。

信行会

何度目かの緊急事態宣言で夜間外出自粛になったのを機に夜七時から午後三時にお経の時間を変更したところ、



皆さん出やすいのか、参加者が増えました。

やはり人は会うことによって、お互いの無事を確認し合い、笑顔を交わすことによって脳から「オキシトシン」が分泌され幸せな気持ちになるのかなあと思いました。

お寺にキッチンカー



四月八日の釈尊降誕会（花まつり）では境内にキッチンカー「今ちゃん」さん、「ざるや」さんに出店頂きました。思うように飲食も出来なくなったコロナ禍において、お持ち帰りも対応できるキッチンカーは最適だと思います。お会式にもキッチンカー出店を考えています。

お寺にキッチンカー、流行るかも・・・

貞真のコロナ自粛ダイエット

実は引きこもり大好きなわたくし、幼い頃も学校に行くのが苦手でした。コロナ禍による自粛で規則正しい食生活と有酸素運動中心のダイエットに励み、一年間で約18キロの脂肪をそぎ落としました。まだまだいけそうです。

◎お寺の行事案内

八月 二日（月） 浄行様ご縁日 信行会 午後三時

十七日（火） 施餓鬼会 午前十一時・午後二時

九月 二日（木） 浄行様ご縁日 信行会 午後三時

十七日（金） 鬼子母神様ご縁日 信行会 午後三時

二十日（月） 二十三日（木） 二十六日（日） 彼岸会

信行会 午後三時

◎お盆について

▼正式には盂蘭盆（うらぼん）といい、表とか裏の意味ではありません。その語源は諸説があり「サンスクリット語の「倒懸（とうけん・逆さ吊りの苦しみ）」を意味するウランバーナ、又イラン語の「死者の霊を祭る」という意味のウラヴァーンがありますが、盂蘭盆とは「ご飯をのせた器」という説が有力になっています。

▼お盆は、お釈迦様の弟子の目連尊者が餓鬼道に墮ちたお母さんを救うために沢山の修行者に飲食を施し、ご先祖を供養したことに由来しております。

▼お盆の習慣も地方によってまちまちで、同じ浦安でも堀江・猫実地区と当代島地区では送り盆の日が違っています。又、浦安は埋め立てによって面積が三倍以上に、人口も十六万人、様々な地方の方が住むようになりました。元町出身の方は浦安のお盆の習慣で御先祖様をお迎えています。地方出身の方はそれぞれの習慣で、又は浦安に準じて行っています。

◎お盆のお経回り「案内

※東京のお盆は七月に回ります

八月十三日午前・・・堀江、猫実、当代島、北栄、

海楽、東野、富岡、今川、高洲、

富士見、新井、葛西

八月十三日午後・・・入船、明海、日の出

八月十四日・・・新井、行徳、湊新田、他

☆八月十三日は朝七時より回り始めます。

都合により、時間が前後すると思われまますので、おおよその目安としてご理解頂きますようお願いいたします。

《墓地清掃のご案内》

八月十六日 朝六時～境内墓地の一斉清掃を行ないます。

翌日のお施餓鬼に向けて、お盆の供物・枯れ花・線香の灰等下げさせて頂きまますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

☆新型コロナウイルス感染症拡大予防の為

施餓鬼法要を二部に分散致します

※お塔婆は左記の法要終了後に出しますが、
参列・お焼香はどちらの時間帯でもどうぞ。

八月十七日（火）（※法話は午後一時〜）

①午前十一時〜十二時頃 お名前（姓）「かゝわ行」の方

②午後二時〜三時頃

お名前（姓）「あ行」「泉澤・宇田川・大塚」の方

説江山正福寺